

区分	専門基礎分野	単位	1単位
科目名	徴候と症状の統合	時間数	30時間
講師名	非常勤講師、専任教員	履修学年	2年次
概要	疾病の原因や進行プロセスで生じる様々な徴候・症状がどのようなメカニズムで発生し、身体にどういった影響を及ぼすのかを理解する。		
学習目標	1. 共通にみられる病気の特徴として、病理学的変化の炎症・出血・梗塞・腫瘍が理解できる。 2. 関連図を用いて整理することで、疾病の原因や進行プロセスで生じる様々な徴候・症状について理解できる。		
授業内容			
回数	学習内容	授業形態	
1	授業展開説明、グループワークのための文献・資料の収集	講義	
2	肝硬変（炎症）・肝臓癌（腫瘍）の授業	講義	
3	グループワークのための文献・資料の収集	演習	
4	各グループの課題に沿ってグループワーク	演習	
5	各グループの課題に沿ってグループワーク	演習	
6	各グループの課題に沿ってグループワーク	演習	
7	各グループの課題に沿ってグループワーク	演習	
8	グループワーク発表	発表・評価	
9	脳出血（出血）・脳梗塞（梗塞）の授業	講義	
10	グループワークのための文献・資料の収集	演習	
11	各グループの課題に沿ってグループワーク	演習	
12	各グループの課題に沿ってグループワーク	演習	
13	各グループの課題に沿ってグループワーク	演習	
14	各グループの課題に沿ってグループワーク	演習	
15	グループワーク発表	発表・評価	
使用教科書・教材・参考書			
系統看護学講座 解剖生理学 医学書院 よくわかる専門基礎講座 病理学 金原出版 自分で描ける病態関連図 照林社 新体系看護学全書 成人看護学 消化器 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 成人看護学 脳・神経 メヂカルフレンド社			
成績評価の方法			
グループワーク及び発表			
備考			
< 授業内容 >			
1) 導入：講義6時間 授業展開を進めるにあたり以下の疾患で講義する。 ①肝硬変・肝臓癌（炎症・腫瘍）②脳出血・脳梗塞（出血・梗塞）			
2) 授業展開：GW演習20時間 ・炎症・出血・梗塞・腫瘍の病因別のメカニズムを調べる。 ・疾患部位の機能と構造の特徴から、出現する徴候・症状を調べる。 ・その疾患特有の徴候・症状の原因、誘因を調べる。 ・疾患部位の機能と構造の特徴から、進行プロセスで出現する徴候・症状を調べる。 ・疾患が人体に及ぼす影響や徴候・症状・検査/診断・治療について関連図を作成する。			
3) 発表・評価：4時間 注) 徴候：患者の自覚症状でなく他者からとらえられるもの 症状：患者の自覚症状			
・2・8・9・15回目は非常勤講師、その他専任教員 ・15回全て各クラスで授業			